

●○●ジェネリック医薬品を知っていますか?●○●

1. ジェネリック医薬品って何?

お医者さんで処方してもらうお薬には「新薬(先発医薬品)」と「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」があります。



新薬は、日本で最初に発売されたお薬で、まずは開発したメーカーに特許があります。ジェネリック医薬品は、新薬の特許が切れた後に厚生労働省の承認を得て発売されるお薬で、同じ効き目で自己負担の少ない(薬価の安い)後発医薬品のことです。後発品は欧米では一般名(generic name)(※成分名のこと)で処方されることが多いために、ジェネリック医薬品とも呼ばれています。

2. ジェネリック医薬品はどうして安価なの?

新薬は、その成分から開発し、有効性、安全性を確認後承認されて発売されるため、研究に10~15年かかると言われ、その費用も150~200億円と莫大です。

しかし、ジェネリック医薬品はすでに使われていて有効性も安全性も確かめられた成分ですから、承認までの手続きが少なくなります。開発や研究にかかる時間も金額も少ないので、新薬の2~8割の価格に国が設定しているのです。



3. ジェネリック医薬品を使うメリットは?

患者さんの薬代の負担が減り、家庭での医療費の節約に役立ちます。また慢性疾患では、薬代が高いからといって、通院や薬の服用をやめてしまう人も少なくありません。でも、お薬は飲み続けることが大切です。

新薬とジェネリック医薬品を、バランスよく用いることにより、高騰する患者さんの医療費の自己負担を和らげ、そしてひいては逼迫した国の医療費を削減することが可能になると言われています。



当院でも最近、患者様から後発品のお薬を出してもらえるかという質問を受けることがあります。現段階では残念ながら、処方せん発行のシステム、医薬品の流通の問題から、すぐにジェネリック医薬品へ切り替えることは困難です。

具体的な取り組みはこれからですが、今後世間の意識が高まり、社会的な認知度、必要性の高まりにあわせて、有効なジェネリック利用に向けての検討を進めていきたいと考えております。

※ ジェネリック医薬品は医療用医薬品のため医療機関を通じての処方のみとなります。
詳しくは薬剤科までお問い合わせ下さい。